

* 回答状況 配布 2,500 枚 回収 2312 枚 回収率 92%

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計	比率
男性	16	527	822	512	141	18	0	1	3	2,040	88.2
女性	0	92	5	58	21	2	0	0	0	253	10.9
未回答	0	0	2	2	0	0	0	0	15	19	0.8
合計	16	619	827	572	162	20	0	1	18	2,312	100
比率	0.7	26.8	35.8	24.7	7.0	0.9	0	0.04	0.8	100	

1. 各項目の特徴点、考察

設問① 「住みやすい街」だと思いますか

住みやすさについては88%が好意的回答（年代的にも偏差なし）

（各市での調査より平均値は少し低い⇒市別は今後の分析必要）

設問② 「住みやすさの判断基準」は何で判断しましたか。（2ヶ選択に対し1.7個選択）

1位 公共交通網・道路網の整備、（26%） 2位 日常生活面での利便（25%）

3位 住環境設備の充実度（19%）

*年代・性別でも大きな差はなく選択されている

*地域での人間関係に重視を置くのは年代が高いほど比率アップ

設問③「魅力ある街にするには」何が必要ですか？（3つまで選択に対し2.6ヶ選択）

*医療機関等福祉関係の充実が全体の20%回答有

*施設関係の充実・歩道等の整備・公共交通機関の整備・防災対策が主要回答

設問④ 「日常生活での抱えている悩み」については（3つまで選択に対し1.8ヶ選択）

*仕事に関する悩みを抱えている人が23%あり

*健康に関する悩みと金銭問題が各17%あり

2. 地協の政策要望への反映課題

*各市長との懇談にて整備されていると思っている施策がアンケートの回答に食い違いあり
PR方法含め要請していく必要あり。

（地域医療・施設の充実要望）

3. 連合愛知の要望書、行政への要請取り組みとしたい項目

（地協独自では達成が困難な項目など）

*新基準での防災対策の推進

（基準が各市町の展開の元となるため早期決定が必要）

4. その他（統一項目や他地協のアンケートと比較して気づいた点など）

①防災訓練への対応が全体と比較すると関心少ない

②防災無線設備に関しては認知度が低い。

（刈谷市・安城市・高浜市には同報無線設備なし）

③J-ALERTについては認識がない人が多い。言葉も知らないとの問い合わせ有り。